

■ 要望書

- ・ 要望書 資料1
- ・ 署名の追加提出時の申し出 資料2

※署名の写しについて

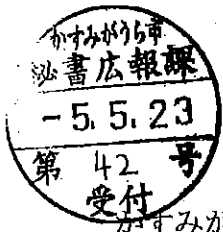
個人に関する情報であり、氏名の記述により特定の個人を識別することができるものであります(かすみがうら市情報公開条例第9条第1項第2号)。また、公にすることにより、特定の者に不利益を及ぼすおそれのある情報であります(同条例第9条第1項第5号)。そのため、公開できないものとなります。

■ 市からの回答書類および回答に対する市民からの反応に係る記録資料

- ・ 回答の通知(表面:通知、裏面:要望書写し) 資料3
- ・ 回答に対する市民からの反応に係る記録 資料4

■ 要望書の取り下げの申し出および取り下げ受諾に係る資料

- ・ 取り下げの申し出 資料5
- ・ 受領書 資料6



令和 5 年 5 月 23 日

かすみがうら市長 宮嶋 謙 様

要望者

代表者

田代 和正

他 4731 名

複合交流拠点施設整備を当初の計画通り進めることを求める要望書

平素より、市民の生活の為、各種行政運営を頂き心より感謝申し上げます。

かすみがうら市複合交流拠点施設の整備は、東西に広がるかすみがうら市の中央部分である神立駅周辺に行政機能を集約し、子どもから高齢者まで多くの市民が集う拠点を整備することで、中心市街地におけるにぎわいの創出や活性化、子育て支援の充実、各種手続きを集約する窓口の出張所機能を実現するものであり、少子高齢化が進展する本市において、地元の良さを改めて実感できるまちづくりを進めるものであると信じております。

この施設は、市民の生涯に渡る学習の場となる図書館機能をはじめとし、付帯する防災機能を備えた公園は子どもが安全に遊び、そして、健やかなる成長を育むことができ、更には、有事の際の防災機能を備え、市街地周辺の住民はもとより、広範囲に渡る地域の市民の命を守る公園として大きく期待をするものであります。当施設の整備により、多くの市民が日常生活の中で気軽に立ち寄ることができ、地域交流機能を有した複合交流拠点施設として、かつ、住民相互の交流の場として、年齢や性別、障がいの有無を問わず市民にとって自宅や学校、職場とは異なる新たな居場所となるものであると期待をします。

取得した用地（筑波ハウス跡地）は、神立駅からほぼ一直線で 650m ほどのところにあり、そこから 6 号国道へ続く車道も歩道も広く整備された新たな地域のメインストリートに面しており、新たな拠点づくりにふさわしい場所と言えるのではないのでしょうか。一部で代替候補地として取り沙汰されている稲吉ふれあい公園については、敷地も周辺道路も狭い住宅街の中にあり、多くの市民が交流する施設の場所としては適切とは思えません。まして、「交流施設は稲吉ふれあい公園に整備し、筑波ハウス跡地は賑わいのある公園にする」という案については、税金の無駄遣いと言わざるを得ません。

本事業は、平成 30 年度の土地利用基礎調査、令和元年度に中心市街地土地利用基本構想、令和 2 年度には都市計画マスタープランや立地適正化計画に記載され、令和 3 年度には中心市街地地区都市構造再編集中支援事業を策定し、国の補助を受け複合交流拠点施設や防災機能を備えた公園及び神立停車場線の照明施設、自転車ナビマーク、市道 8-0381 号線歩道整備、神立駅東口歩行者専用道路等含む駅周辺の一体的な整備計画が進められており、我々はこの施設整備に、大きな期待を寄せています。

このようなことから、当初の計画を変更することなく、複合交流拠点施設の整備を推進するよう要望いたします。

〔要望趣旨〕

当初の計画どおり、取得した用地（筑波ハウス跡地）に複合交流拠点施設整備を求める。

令和 5 年 6 月 6 日

かすみがうら市長 宮嶋 謙 様

要望者

代表者

田代 和正

複合交流拠点施設整備を当初の計画通りに進めることを求める要望書

追加提出	489 名
合計	5,221 名

となります。宜しくお願い致します。

なお、署名に対する回答に関しては、税金の無駄遣いや市職員の方々の労力負担増を回避するためにも、一人一人への文書郵送ではなく、代表者である私への文書による回答、または、鳥取県倉吉市のホームページ (<https://www.city.kurayoshi.lg.jp/gyousei/div/seikatsu/chiiki/5/enq-2/>) にあるように、誰もが閲覧できる状態での回答を要望いたします。

昨日届いた回答書にあった「市民の皆様の声を拝聴しながら、意見はしっかりと受け止め、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。」とお言葉、本心であると信じます。5,200 名を超える市民の声を、どうかしっかりと受け止めてくださいますよう、お願い申し上げます。

令和5年6月1日

ご署名された皆様

かすみがうら市長 宮嶋 謙
(公 印 省 略)複合交流拠点施設整備を当初の計画通り進めることを求める要望書
に係る回答について

薫風の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素から、市行政に対しまして格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様には、かすみがうら市の将来を真剣に考えて頂いておりますことに加え、大きな期待を寄せていただいておりますことに感謝申し上げます。

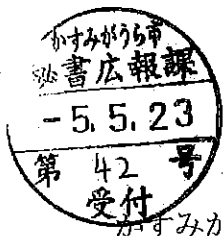
魅力的なまちとするべく、まちづくりを進めていく上で、市街地にどのような機能を確認していくかが重要だと考えております。市民の皆様の声を拝聴しながら、意見はしっかりと受けとめ、市政運営に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

※ 本書は令和5年5月23日付けで御提出いただきました「複合交流拠点施設整備を当初の計画通り進めることを求める要望書」(裏面参照)にご署名のあった氏名及び住所を基に、皆様に通知させていただいております。

なお、この通知に関する問い合わせ及び、要望書や署名に心当たりのない方につきましては、大変恐縮に存じますが、秘書広報課までご一報いただけますと幸いです。

【問合せ・連絡先】

かすみがうら市市長公室秘書広報課 秘書担当
かすみがうら市上土田461 (千代田庁舎2階)
電話 0299-59-2111
029-897-1111



令和5年 5月23日

かすみがうら市長 宮嶋 謙 様

要望者

代表者

田代 和正

他 4731名

複合交流拠点施設整備を当初の計画通り進めることを求める要望書

平素より、市民の生活の為、各種行政運営を頂き心より感謝申し上げます。

かすみがうら市複合交流拠点施設の整備は、東西に広がるかすみがうら市の中央部分である神立駅周辺に行政機能を集約し、子どもから高齢者まで多くの市民が集う拠点を整備することで、中心市街地におけるにぎわいの創出や活性化、子育て支援の充実、各種手続きを集約する窓口の出張所機能を実現するものであり、少子高齢化が進展する本市において、地元の良さを改めて実感できるまちづくりを進めるものであると信じております。

この施設は、市民の生涯に渡る学習の場となる図書館機能をはじめとし、付帯する防災機能を備えた公園は子どもが安全に遊び、そして、健やかなる成長を育むことができ、更には、有事の際の防災機能を備え、市街地周辺の住民はもとより、広範囲に渡る地域の市民の命を守る公園として大きく期待をするものであります。当施設の整備により、多くの市民が日常生活の中で気軽に立ち寄ることができ、地域交流機能を有した複合交流拠点施設として、かつ、住民相互の交流の場として、年齢や性別、障がいの有無を問わず市民にとって自宅や学校、職場とは異なる新たな居場所となるものであると期待をします。

取得した用地（筑波ハウス跡地）は、神立駅からほぼ一直線で650mほどのところであり、そこから6号国道へ続く車道も歩道も広く整備された新たな地域のメインストリートに面しており、新たな拠点づくりにふさわしい場所と言えるのではないのでしょうか。一部で代替候補地として取り沙汰されている稲吉ふれあい公園については、敷地も周辺道路も狭い住宅街の中にあり、多くの市民が交流する施設の場所としては適切とは思えません。まして、「交流施設は稲吉ふれあい公園に整備し、筑波ハウス跡地は賑わいのある公園にする」という案については、税金の無駄遣いと言わざるを得ません。

本事業は、平成30年度の土地利用基礎調査、令和元年度に中心市街地土地利用基本構想、令和2年度には都市計画マスタープランや立地適正化計画に記載され、令和3年度には中心市街地地区都市構造再編集中支援事業を策定し、国の補助を受け複合交流拠点施設や防災機能を備えた公園及び神立停車場線の照明施設、自転車ナビマーク、市道8-0381号線歩道整備、神立駅東口歩行者専用道路等含む駅周辺の一体的な整備計画が進められており、我々はこの施設整備に、大きな期待を寄せています。

このようなことから、当初の計画を変更することなく、複合交流拠点施設の整備を推進するよう要望いたします。

[要望趣旨]

当初の計画どおり、取得した用地（筑波ハウス跡地）に複合交流拠点施設整備を求める。

■署名に記載のある方から届いた声

- ①家族が勝手に署名したもの 12名
- ②署名の話はあり、断ったが署名されていた 2名
- ③署名自体、身に覚えがない 39名

- ・署名自体、身に覚えがなく、承諾を得ることなく勝手に署名された。
誰がこのような署名活動を行っているのか。
- ・署名していたことすら知らない。なぜ自分の名前が署名されているのか分からないし、とても気持ち悪い。

【その他】

- ・知り合いが来たから、内容を確認せずに、署名してしまった。
- ・郵便が届いたが、氏名が違う（住所はあっている）。
- ・署名したのは事実だが、署名を削除してほしい。
- ・要望書の内容には賛成だが、署名していない。
- ・匿名での電話「署名自体、身に覚えがなく、署名していない」5件程度
- ・代理で電話している。私のところには議員が来て署名したのは事実。ただ、近所の方で二人暮らしなのに同住所で4名分記入されている人もいて不思議。実在しない2名の氏名は実在する人に似せた氏名だった。他のお宅でも同じことを言っている方がいた。
- ・約40万円分の郵送料をかけて送付しているのであれば、水道管老朽化対策などの費用に充てるなど、有効に使用してほしい。
- ・このような通知を出せるくらい市役所は暇なのか。他にやることあるだろう。
- ・広報誌に回答を郵送したことを掲載すべき。
- ・子育て中であり、公園を希望する。

公室長	課長	課長補佐	係長	係
	かすみ			



かすみがうら市長
宮嶋 謙 様

私、田代和正は、令和5年5月23日に提出した「複合交流拠点施設整備を当初の計画通り進めることを求める要望書」及びそれに対する4,732名分の署名と、同年6月6日に追加提出した489名分の署名、合計5,221名分の署名をすべて取り下げたく、お願い申し上げます。

署名を頂いた皆様の事を思うと断腸の思いではありますが、5,221名全員に1人1人に郵送で「要望書や署名に心当たりのない方につきましては、大変恐縮に存じますが、秘書課までご一報いただけますと幸いです。」と送ってこられた『あぶり出し』のごとき前代未聞のご対応、その結果の「2千人以上の署名が『本人の手によらないものだった』と、偽造された疑いがある」とまで新聞に書かれ、多くの市民の思いが詰まった「要望書」そのものを無かったことにしたいかのようなご対応に多くの市民が怒り、失望し、私自身も気力を失いました。数多の署名に耳を傾けて頂く事すら叶わず、非常に残念です。なぜ、市民の思いが詰まった「要望書」に対して、ここまで目くじらを立てられるのか理解できません。これから先、市民は誰も要望等はしてはいけないのでしょうか？そう思うと非常に残念です。

ただ、私が納得できないからと言って、これ以上署名活動を続けたとしても、あるいは何か別の手段を考えると、この「要望書」を発端とした百条委員会が開かれると、失望した市民の皆様にとさらにご迷惑をかけることになってしまうと思い、今回の取り下げに思い至りました。

令和5年6月18日付で、5,221名分の署名をすべて取り下げいたしますので、この署名に絡む一切の事項（市ホームページ上の要望書への回答、百条委員会開催など）も取り下げたく、お願い申し上げます。

もし、少しでも私たちの思いをくみ取って頂くお考えがあるのなら、あの旧筑波ハウスの土地に、神立病院単独ではなく、複合交流拠点施設のコンセプトを取り入れた、「複合交流拠点施設の機能+産婦人科等の子育て支援の機能を中心とした病院」の本当の意味での複合交流拠点施設をご検討頂けないでしょうか？それなら、誰も反対するものも出ず、国からの補助金を返上する事もなく、宮嶋市長の英断と称えられることかと思えます。差し出がましい話で恐縮ですが、かすみがうら市の希望ある未来を作るためにと思うが故の最後のたわ言とご理解頂ければ幸いです。

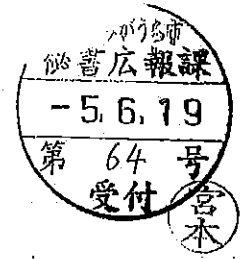
なお、5,221名分の署名につきましては、6月19日の午前中に引き取りに伺いますので、宜しくお願い致します。

令和5年6月18日

要望者代表

田代和正

公室長	課長	課長補佐	係長	係
	加藤		田代	和正



かすみがうら市長 宮嶋 謙 様

受領書

令和5年5月23日に提出した「複合交流拠点施設整備を当初の計画通り進めることを求める要望書」を取り下げるにあたり、それに対する4,732名分の署名と同年6月6日に追加提出した489名分の署名、合計5,221名分の署名を受領いたしました。

令和 5年 6月 19日

要望書代表 住所

氏名 田代和正